

令和3年度盛岡市医師会事業計画案について

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大により、世界中の社会経済に甚大な影響を及ぼしており、この状況はしばらく続くものと予想される。感染収束に向けてワクチンや新薬の開発が進められており、国内においても今春からワクチン接種が開始され、一日も早い景気の回復と社会情勢の安定を期待したい。医師会においても様々な事業が中止延期を余儀なくされ、十分な事業活動を展開できなかったが、感染対策を考慮したWeb会議や職員の在宅勤務等新しい様式を取り入れた取り組みを行い事業を継続している。会員の協力のもと COVID-19 に対する盛岡地域外来・検査センター、軽症者宿泊療養施設の運営協力を始め、夜間急患診療所、休日救急当番医の運営も滞りなく行われているが、感染者増加に伴う通常診療の維持も含めた医療体制の堅持をはじめ、数多くの委託事業の維持推進など盛岡市医師会の直面する課題は山積している。

COVID-19 への対応を継続しながら、限られた医療資源の中でこれまでのように在宅医療の充実、認知症対策、がん対策、糖尿病性腎症重症化予防対策、地域包括ケアシステムの構築、ACP に加えフレイル予防、虐待防止対策、産後ケア事業にも取り組んでいく必要がある。また、当医師会に関連する看護学院、訪問看護ステーションにおいては、一層の人材育成と健全な運営を目指したい。関係行政機関、岩手県医師会、岩手医科大学医師会、他郡市医師会および医療関連団体との緊密な連携の下、各部事業を展開していきたい。

1. 総務部

- (1) 医の倫理の高揚
- (2) 行政との連携強化
- (3) 県医師会、岩手医科大学医師会及び他郡市医師会との連携
- (4) 医療関連団体との連携強化
- (5) 地域医療構想への対応
- (6) 地域包括ケアシステム構築への対応
- (7) ACP（アドバンス・ケア・プランニング人生会議）の啓発および普及
- (8) 災害への対応強化と安全対策の推進
- (9) 会員・家族・従業員の福利厚生増進
- (10) 看護学院、訪問看護ステーションの良好な運営の堅持

2. 地域医療部

- (1) 行政への積極的な提言と連携
- (2) 地域包括ケアシステム構築のための医療と介護の連携強化
- (3) 糖尿病性腎症重症化予防プログラム推進と糖尿病疾患の病診連携推進
- (4) 自殺予防対策におけるうつ病の早期発見・治療・相談体制の推進
- (5) 認知症新オレンジプランの推進
- (6) 骨粗しょう症予防対策の推進
- (7) 禁煙運動の推進
- (8) 新型コロナウイルス感染症検査体制の拡充と長期休暇時の検査体制の確保の推進
- (9) 予防接種の推進及び新型コロナウイルスワクチン接種事業への協力体制の推進
- (10) 「盛岡CKD病診連携診療情報提供書」の普及啓発
- (11) 新しい「緊急・時間外医療機関受診連絡票」の利用促進

3. 在宅医療部

I. 在宅医療

- (1) 在宅医療介護連携推進事業の実施
- (2) 在宅医療対応医療機関の拡充
- (3) 在宅療養支援診療所への参加推進
- (4) 医師スキルアップ研修会の開催
- (5) 医療・福祉に関する資源の調査及び開示
- (6) 在宅医療連携システムの活用に関する検討
- (7) 病院医師看護師の在宅医療の理解と切れ目のない在宅医療の実現
- (8) 小児在宅医療の推進
- (9) 在宅医療を行う医師の負担軽減についての調査及び施策の提言
- (10) 行政と連絡調整会議の実施
- (11) 多職種合同研修会の開催
- (12) 在宅看護職との合同会議の開催、
- (13) 在宅療養者（通院困難者）の新型コロナウイルスワクチン接種への対応

II. 訪問看護ステーション・居宅介護支援事業所

- (1) 利用者の適正数の維持と内容の充実化
- (2) 業務の合理化、効率化と職員の充実
- (3) 新技術教育のための研修会参加
- (4) 会員医療機関との連携推進

4. 検診部

- (1) 安全な健診事業の推進
- (2) 検診事業における精度管理の充実および適正化の推進
- (3) 各種個別検診の推進
- (4) 胃がん内視鏡検診の円滑な運営及び国立研究開発法人日本医療研究開発機構の「個別リスクに基づく適切な胃がん検診提供体制構築に関する研究」への積極的参加
- (5) 骨粗鬆症予防検診の推進

5. 学幼保医部

I. 学校部会

- (1) 児童・生徒・保護者への啓発活動
 - 1) 「メディア漬けからの脱却」運動の更なる推進
 - 2) 禁煙教育の推進と禁煙フォーラムへの積極的参加
 - 3) 心と性の問題対策
 - 4) ワクチン接種率の向上と感染症対策
 - 5) 小児生活習慣病予防の啓発
 - 6) アレルギー疾患予防と対策知識の普及と啓発
 - 7) 学校におけるがん教育への協力
- (2) 学校医の資質向上並びに意識の向上
- (3) 学校保健関連団体との連携推進
- (4) 各種検診活動の充実
- (5) 新型コロナウイルス感染症対応への指導・助言

II. 幼稚園保育園部会

- (1) 保護者への啓発活動
 - 1) 「メディア漬けからの脱却」運動の更なる推進
 - 2) 「子育て力、家庭看護力」の増進
- (2) 幼稚園保育園関連団体との連携強化
- (3) 園医の資質向上
- (4) 幼稚園保育園職員の資質向上
 - 1) 関連職員研修会の開催
 - 2) 医学的な助言の実施
- (5) 感染症対策
 - 1) 施設職員の感染予防対策の充実
 - 2) ワクチン接種率の向上
 - 3) 感染症発生情報共有と対策の充実
- (6) 新型コロナウイルス感染症対応への指導・助言

6. 母子保健・思春期保健対策部

- (1) 保護者への啓発活動
 - 1) 母子保健講演会の開催
 - 2) 乳幼児期からの心の健康に関する啓発活動
 - 3) 「メディア漬けからの脱却」運動の更なる推進
 - 4) 禁煙教育(受動喫煙も含めて)の推進
- (2) 妊産婦への啓発活動
 - 1) 育児支援(育児不安軽減)の推進

- 2) 少子化対策の推進
- 3) 虐待予防の推進
- (3) 思春期対策
 - 1) 性教育の充実
 - 2) ホームページによる性の悩み相談の推進
 - 3) 問題行動の軽減の推進
 - 4) いじめへの対応
- (4) 乳幼児健診及び妊婦健診の円滑な実施
- (5) 関連機関との連携

7. 保険部

- (1) 情報伝達の充実と迅速化
- (2) 保険改定の具体的説明
- (3) 個別指導対象医療機関へのピアレビューの充実と是正事項の確認
- (4) 保険診療上の問題点、要望事項の調査
- (5) 審査に関する問題点解明と提言
- (6) 社保・国保審査員との情報交換
- (7) 新規開業医への保険診療・個別指導に関するオリエンテーション
- (8) 集団指導の出席率向上
- (9) 県医師会との連携強化
- (10) 個人情報保護の徹底

8. 産業保健部

- (1) 産業保健センター活動の推進
- (2) メンタルヘルスケア活動の推進
- (3) ストレスチェック制度への対応
- (4) 産業医研修会の開催
- (5) 労働者の健康診断受診率向上の推進
- (6) 働き方改革への対応

9. 広報部

- (1) 会員への広報
- (2) 会報の編集・発行
- (3) 市民に対する医師会活動の展開
- (4) 医師会ホームページの充実
- (5) 市民向け健康情報誌の作成

10. 救急医療対策部

- (1) 二次救急病院群輪番制の運営
- (2) 小児救急輪番制の運営
- (3) 在宅当番医、夜間急患診療所の運営
- (4) 心肺蘇生法の普及
- (5) 救急医療週間啓発行事の実施
- (6) 小児救急電話相談事業への協力
- (7) 救急医療教育の実施
- (8) 災害時医療救護体制の整備と訓練の実施
- (9) 新型コロナウイルス感染症(疑いを含む)及びそれ以外の救急患者を円滑に受け入れるため調整を行う

1 1. 学術部

- (1) 生涯教育研修会の開催
- (2) 学術講演会の開催及び後援
- (3) 医学関連図書、ビデオ等の整備
- (4) 市民公開講座開催への支援・後援

1 2. 勤務医部

- (1) 勤務医の労働環境の整備・向上
 - 1) 勤務医の負担軽減に関する情報の提供と共有
- (2) 地域医療との連携強化
 - 1) 二次救急医療への協力継続
 - 2) With Corona 時代の病診・病病連携強化
 - 3) 新型コロナウイルス感染症対応における二次救急病院間の連携・情報共有
 - 4) 介護施設等との情報共有
- (3) 勤務医の医師会活動への参加促進

1 3. 医療安全・医療事故予防対策部

- (1) 医事紛争への対応、処理
- (2) 医事紛争事例の報告書作成
- (3) 医療事故調査制度への対応
- (4) 医療安全・医療事故予防のための講習会参加および啓発
- (5) 新規開業医への医療安全・医療事故予防に関するオリエンテーション

1 4. 看護学院部

- (1) 学院運営の健全性の確保および実習施設の確保等による定員の維持
- (2) 受験者の増加と目的意識をしっかりとった学生の確保
- (3) 心の通った看護のできる学生の育成とその為の教員の確保と資質向上
- (4) 資格試験・国家試験合格率 100%
- (5) 修学資金制度の継続
- (6) 事業継続に向けた運営形態の検討